

JOY!

Vol.16



主は嵐に働きかけて沈黙させられたので 波はおさまた。
彼らは波が静まつたので喜び祝い
望みの港に導かれて行った。

(詩編107:29-30)



望みの港へ

Message

山下正雄
(ラジオ牧師)



東京湾の入り口から横須賀市の観音崎と富津市の富津岬を結ぶ海域までを浦賀水道と呼んでいます。この場所は「走水」の名で知られ、荒れる海として、古くは『古事記』にも登場します。最も狭いところで6.5kmの幅しかない、しかも潮流が激しいこの海域に、1日に数百隻の船舶が行き来しています。開国を迫ったペリー艦隊も、この海域を通って浦賀にやってきました。

わたしは過去に一度だけ、東京の竹下からこの水域を通過して、1000km南の父島に渡ったことがあります。その日はあいにくの春の嵐で、東京湾から外洋に出たとたん、船は大波に揉まれて上へ下への大振れ。25時間で着くはずが、その日は30時間以上もかかってしまいました。旧約聖書の詩編の中に、嵐に遭遇した船乗りの描写があり

ますが、船内はまさにその通りの様子でした。

「彼らは天に上り、深淵に下り 苦難に魂は溶け 酔つた人のようによろめき、揺らぎ どのような知恵も呑み込まれてしまった」(詩編107:26-27)。

この詩編全体は、イスラエルの歴史の諸場面を、繰り返されるフレーズでまとめています。それは、苦難の中から主に助けを求めるとき、主なる神がその声に応えて救済を与えてくださったという歴史です。聖書の神は苦難の時に必ず答えてくださる恵みの神であると同時に、苦難の時にしか神に助けを求めない人間の愚かさが描かれているように思います。

イスラエルの歴史もそうですが、ひとりの人間の人生もそれに似ているように思います。順風満帆の時には、神など必要がないように振舞います。しかし、ひとたび苦難に遭遇すると、知恵も飲み込まれてしまうほど狼狽します。それでもなお、助けを求める者には恵みを施してくださるのが聖書の神です。神の御手に導かれて、望みの港へと導かれますように。



ちょっと教えて!



信仰を強要されるのでは…

礼拝に参加すると、イエス・キリストの救いの恵みを熱心に聞かされ、「抜けられなくなるのでは?」と不安に思う方もいらっしゃるでしょう。でも心配は無用です。信仰は決して強要されるものではなく、神様との関係のなかで初めて生まれます。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」(ヨハネ15:16)。教会は、聖書を通して神様とあなたが出会う場所です。



主と神は同じ?

「天地を創造された主よ」「天にいます父なる神様」。礼拝や祈りの中で、唯一の神を呼び掛ける名前がいくつか出てきて、戸惑うこともあるかもしれません。聖書には、預言者モーセが神に出会い、名前を尋ねた時に、神は『わたしはある。わたしはあるという者だ』と説明され、ご自身を「神である主」と呼んだと書かれています(出エジプト3:14-15)。ですから、「主」も「神」も、同じお方を指していると言えるのです。



「聖靈の舟」



× 田中 均 (岡山教会)

CHRISTIAN
ARTIST NETWORK

IBUKI-Christian Artist Network

神から命の息吹をいただいたクリスチャンの芸術家ネットワーク (2014年6月発足)

改革派教会とは

プロテstant教会は、16世紀にヨーロッパで起こった宗教改革運動から生まれました。改革派教会は、「聖書に忠実な教会に立ち返らせよう」としたこの運動の指導者の一人、カルヴァンの伝統を継承しています。改革とは原型に戻すこと、「聖書によって改革された、また改革され続ける」という意味です。日本キリスト改革派教会は、1946年に創立。正統的な教会の一つで、現在、全国に140の教会があり、会員数は1万人程です。

RCJメディア・ミニストリーについて

RCJメディア・ミニストリーは日本キリスト改革派教会大会メディア伝道局の活動の通称。1967年にラジオ番組「あさのことば」を開始し、現在はラジオやインターネットによる放送伝道を中心に、福音(良い知らせ)を届けています。通信講座や季刊紙「JOY!」などの文書やCD、また、集会を開いてリスナーとの直接的な相互の関係を深めた伝道にも励んでいます。HP「ふくいんのなみ」で番組を聴くことができます。



日本キリスト改革派教会

RCJメディア・ミニストリー 主事 山下正雄
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC613
TEL 03-3292-7604 E-mail info@jesus-web.org

